# ピアサポーター力を活かしたひきこもり支援を考える >きこもりの理解促進と連携力向

1日目

14:00-17:00

高知県立県民文化ホール 第6多目的室 13:30受付開始/現地定員[50名] 2日目

09:30-12:30 午前の部 13:30-16:00 午後の部

高知市東部健康福祉センター 3F集会室 09:00受付開始/現地定員[65名]

参加対

# ひきこもり支援、ピアサポート活動、多機関連携に関心のある方

申込方法

- ①氏名(フリガナ) ②お立場(家族、本人、支援者、一般)
- ③連絡先(電話番号とメールアドレス) ④お住まいの都道府県 ⑤所属(任意)
- ⑥参加種別(現地参加2日間、現地参加1日のみ(2/6、2/7)、オンライン研修当日参加、 または、オンライン後日動画視聴)いずれかの希望を書いてお送りください

ホームページの申し込みフォーム、または FAX 03-5944-5290 まで必要事項を書いて送信してください





※参加費のお振込先は 裏面を御覧下さい。

現地参加費(2日間通し)

現地参加費(1日間のみ)

オンライン研修当日参加(2日間) オンライン動画後日視聴(2日間) 本人・経験者 2,000円

本人·経験者 1,000円

家族 3,000円 家族 2,000円 支援者 10,000円 支援者 5,000円

家族 2,000円

支援者 5,000円

本人·経験者 1,000円

※参加費の一部は、ピアサポート事業の費用に充てさせていただきます ※動画視聴はご自身の研修目的以外には利用できません。 zoom 接続のアドレス及び配布資料はお申込み者の方のみアクセス可能です。 (オンライン当日参加はチャットでの質疑応答が可能) (オンライン動画視聴は2週間有効)

# 経験を糧に 息長く支え合うためにできること

当会は、2013年度から「ひきこもりピアサポーター」養成研修派遣事業を開始し、今年で7年目を迎えました。現在も200名を 超えるピアサポーターが、ひきこもった自らの経験、その家族の経験から、仲間(ピア)として支え合いながら活動に取り組んでい ます。痛みや苦しみに自然に共感し合ったり、本人のペースで息長く支え合う力は、ピアサポートの強みとなっています。

高知県では全国に先駆けて「高知ひきこもりピアサポートセンター」が開設され、経験者によるひきこもり支援がスタートしま した。ひきこもりの背景が多様化しているなか、官民連携で互いの強みを活かした多機関とのつながりが重要になっています。

本研修会では、全国の連携事例を通して、ひきこもり支援の中でピアサポートの役割や意義、連携する上で大切なものは何か を考えます。多機関連携に関心のある方、官民問わず支援に携わる方、ピアサポーター、ご家族ご本人のみなさん、ぜひ参加をお 待ちしています。本研修が今後の連携の萌芽となれば幸いです。コロナ禍の現在、オンラインによる参加、視聴も歓迎していま す。ふるってご参加ください。

【主催】 特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 【共催】KHJ高知県親の会「やいろ鳥」の会 【後援】高知県

●必ずマスクを着用のうえご来場ください●受付時に検温、手指の消毒をお願いします●発熱が認められる際は、入場をご遠慮いただく場合があり

# 研修プログラム

# 2月6日(第1日目)

## ●14:00~主催者あいさつ

・伊藤正俊(特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会共同代表)

## ● 1 4:10~ KHJ調査報告

「ピアサポーター家族会調査結果から見るピアの有効性について」

・ト田理香(KHJ本部事務局長)

## ●14:30~基調講演

「ピアサポーターの有効性とは?」

・山﨑正雄(高知県立精神保健福祉センター所長 ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会会長)



(山﨑正雄氏)

●15:30~シンポジウム 「行政とピアサポーターとの連携に大切なものとは何か」

~高知ピアサポートセンターの活動と展望~

·座長:川﨑正雄

・シンポジスト(50音順)/乾 飛鳥(高知県ひきこもり地域支援センターひきこ もり支援コーディネーター)/坂本 勲(KHJ高知県親の会「やいろ鳥」の会会 長)/中嶋 真琴(高知県地域福祉部地域福祉政策課長)/水田 誠(ひきこもり 経験者・KHJ認定ピアサポーター高知ピアサポートセンター事務スタッフ)

〈ピアサポーター連携プロフィール〉

## KHJ高知県親の会 やいろ鳥の会

(高知ピアサポートセンター受託団体)

2006年設立。毎月定例の親の会を開催する傍ら、10 年以上前から、高知県地域福祉部の支援を受け精神保 健福祉センターの部屋を借り、週一回家族サロンを開 催している。サロンでは、家族会会員がセンターの相談 員の面談を受けたり、センターに相談に来た親を家族 会のサロンに繋げたり、官民が協力し合って親のサ ポートを行っていた。やがて県から居場所づくりの提案 があり、いの町に居場所「といろ」を開設。以来県と精神 保健福祉センターとは緊密に連絡を取り合っている。 ひきこもり相談業務の一層の充実のために、2020年4 月にピアサポーターによる相談センターとして開設さ nt-

# 2月7日(第2日目)

# 〈午前の部〉

●9:30~12:30

「全国のピアサポート実践の紹介

~官民連携事例から浮かび上がる現状と課題~」 総合司会:池上正樹

(KHJ全国ひきこもり家族会連合会理事)

ピアサポート活動に役立つ身近な事例も含めて紹介します。



# ①[北海道]公設民間の居場所でのピアサポート

(KHJ北海道はまなすの会・NPO法人 レター・ポスト・フレンド相談 ネットワーク)

居場所 [よりどころ] は、2018年にNPO法人レター・ポスト・フレンド 相談ネットワークに委託され、札幌市ひきこもり地域支援センターと 協同して実施されている。ピアサポーターは、家族会や当事者会での 相談や居場所スタッフとして活動。話しても話さなくてもいい。ピア サポーターによる企画が柔軟に取り入れられている。

# ②[富山]相談へのハードルを下げる

(NPO法人はぁとぴあ21・KHJはぁとぴあ家族会)

2020年7月から富山県の子ども・若者総合相談センターを受託。第 一次相談窓口はピアサポーターを配置。開設してから4か月で合計1 00件余りの相談があった。ピアサポーターが第一次相談窓口を担当 することで、相談へのハードルが下がり、さらにコロナ禍の影響で、相 談は増えている。本人や家族が負い目を感じることなく、安心して語 れ心を休めることのできる居場所づくりにも力を入れている。

## ③[香川]ピアサポーターの特性を理解

(香川県三豊市等とKHJ香川県オリーブの会)

2019年度から三豊市と家族会との連携で、「家族サロン」「女子会」 を開始。2020年度からは、ひきこもりの理解を促進させるための講 演会を、三豊市の6つの拠点で実施。行政との連携体制ではピアサ ポーターの特性についての相互理解が大切である。その他、2016年 度から、高松市の支援業務を受託(ひきこもり相談窓口)、2017年度 からピアサポーター(経験者)による、当事者対象の傾聴サロンや訪 問を行っている。

# ★ピアサポーターからの応援ビデオメッセージ

(ひきこもり経験者と家族)

# 〈午後の部〉13:30~16:00

**●**13:30~14:30 ピアサポーター体験発表 「今、ひきこもっている人と家族に伝えたいこと」

楠永洋介(ひきこもり経験者、KHJ高知県親の会「やいろ鳥の会」、 KHJ認定ピアサポーター、整体指導者)

1986年、高知市生まれ。小中学校を不登校を経験。定時制昼間 部高校を卒業後、ニート、ひきこもりを経験。

過去の経験から「自分が自分である為に必要な事」を研究、自ら を実験動物として「仮説」と「実践、実験」を重ねて暮らす。現在、農 業従事、塾講師、整体師を生業に生計を営む。

# ●14:40~16:00 各テーマに別れて対話交流会

※対話交流会は、オンラインによる当日参加及び 動画視聴はできませんので予めご了承ください。

## ■池上正樹プロフィール

ジャーナリスト。KHJ 全国ひきこもり家族会連合会広報担当理事。20 年以上にわたって 「ひきこもり」関係の取材を続け、1000人以上の当事者、家族とやりとりを重ねる。著 書は『ルポ「8050問題」~高齢親子"ひきこもり死"の現場から』(河出新書)。

参加費はホームページまたはFAXでお申込み後、下記口座 に1週間以内にお振込みください。お振込み後、申込受付 完了となります。(申込方法は表面をご覧ください)

#### 【振 込 先】

ジャパンネット銀行 ビジネス営業部(ビジネス)支店 普通口座 2008951

#### 【口座名義人】

特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 トクヒ)ケイエイチジェイゼンコクヒキコモリカゾクカイレンゴウカイ

※コロナ感染拡大の状況により、プログラムの一部が変更になる場合がございます。

## お問い合わせ

特定非営利活動法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会 KHJ本部事務局 170-0002東京都豊島区巣鴨3-16-12-301 TEL:03-5944-5250 / FAX:03-5944-5290

E-mail:peer2020@khj-h.com